

06 設計演習 II B

地域の図書館－地域図書館 + ○○○－

開講年次：学部2回生 後期

[担当教員]

黒田龍二（教授） 梶橋修（准教授） 栗山尚子（助教）

[Teaching Assistant]

大西玲（A66） 羽柴優（A66） 花嶋勇哉（A66）

■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

■計画建物の概要

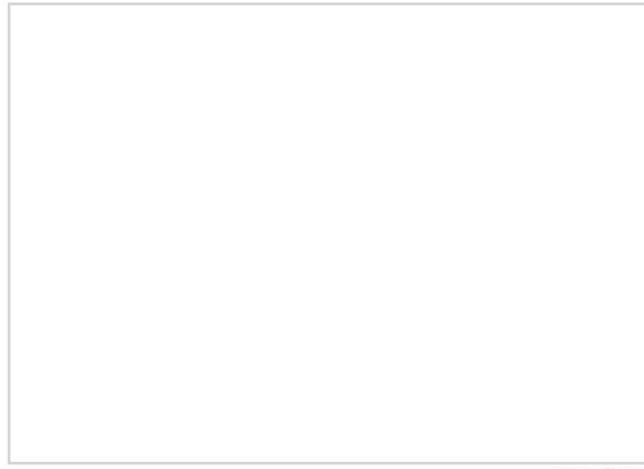
- (1) 延床面積 1,600 m²前後
(±10%程度の増減は可、ピロティ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)
- 注意：敷地 I, II はともに容積率 200%の地区で 3 千m²以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。
- (2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）
- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

■敷地 I

阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。

敷地面積 約 3,230 m²

第一種中高層住居専用地域／建蔽率 60%，容積率 200%



課題；敷地 I

[OBゲスト講評者]

寒野誠規（昭和設計、AC10）

畠山文聰（NTTファシリティーズ、AC1）

■提出図面・用紙

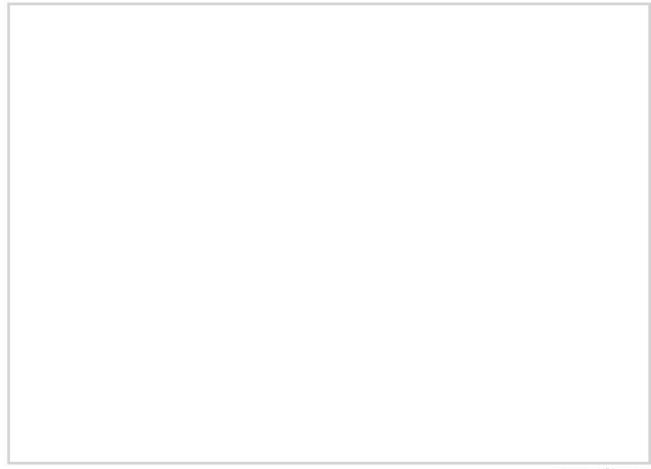
- (1) 所要図面
配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。
各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。
立面図 1/100 2面以上。
断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。
透視図（必須）1点以上 図面にはりこむなどして提出図面のサイズは統一
模型写真（必須）1点以上
※断面図、透視図、模型写真是設計の意図が十分に伝わる部分を適切に選ぶこと
- (2) 用紙： A1ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）
鉛筆、インキ等の仕上げ自由。
模型写真的貼込みなどは可とするが、図面一枚全部をプリンタ出力の場合、貼り合わせは不可。 A1一枚ものとして出力のこと。

■敷地 II

阪神新在家駅南側、新在家南公園の北側の敷地。

敷地面積 約 3,103 m²

準工業地域／建蔽率 60%，容積率 200%

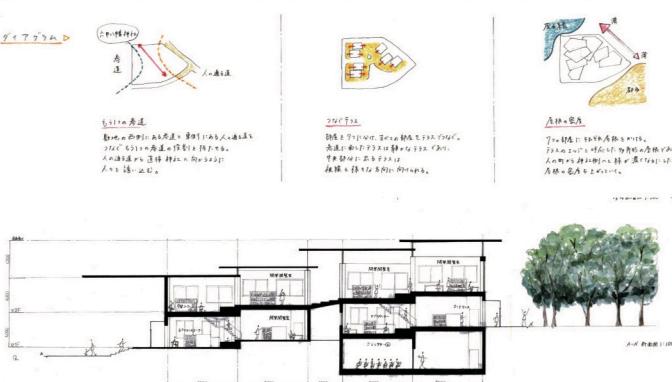
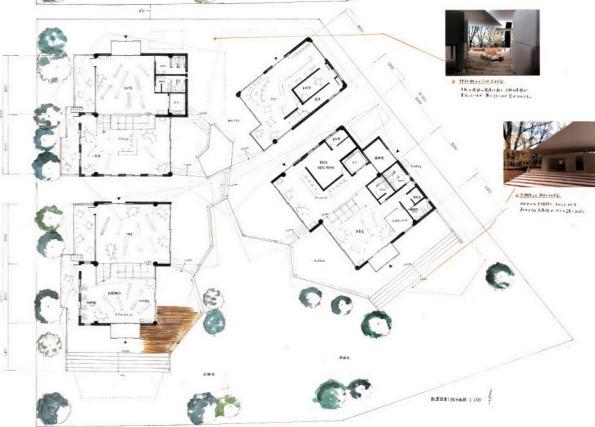


課題；敷地 II

もうひとつの参道

柴田貴美子

現代の忙しい人々が、図書館に立ち寄ってテラスに出て本を読み、様々な人と出会いながら神社に参拝する。そんなゆったりとした時間を過ごせるような空間を作りたいと思い、図書館全体がもうひとつの参道となることを目指した。

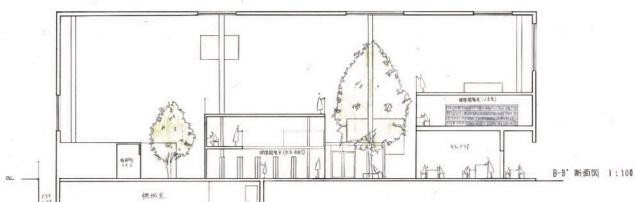
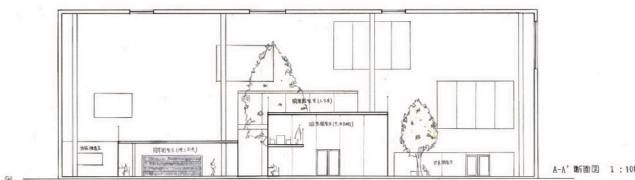
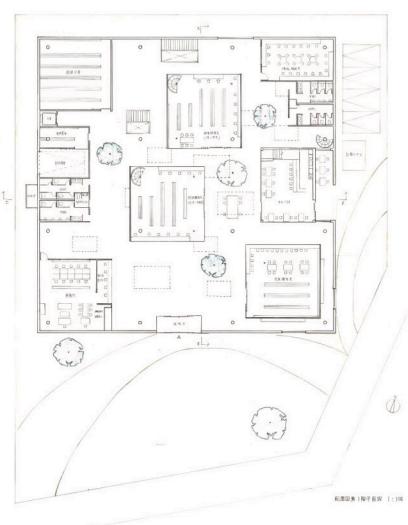
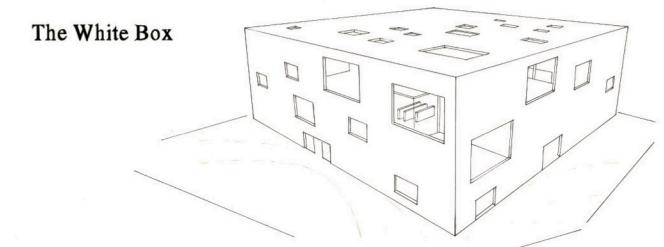


The White Box

伊原拓哉

森のような図書館。明るいところと暗いところ。密なところと疎なところ。透明なところと不透明なところ。こうした対なる性質が鮮やかに多様に融合するところ。それが抽象的な森である。そんな森のような図書館を作った。

The White Box



憩

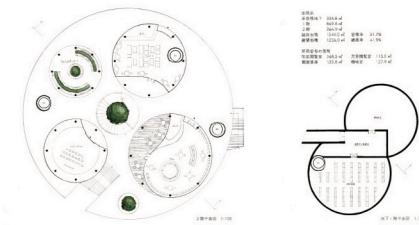
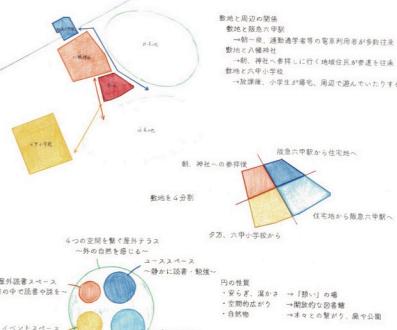
福原草雅

八幡神社に隣接し様々な目的をもつ人々が行き交うこの場所に、それぞれの人々にとって心身ともに安らげるような場所を目指して、「本を読む」ことによる「憩」、八幡神社参道に広がる豊かな「自然」による「憩」、2つの「憩」もつ図書館を計画した。



設計意図
施設の周辺にあり、八幡神社参道に隣接するこの場所に、様々な目的を持つ人々が利用する。また、周辺に在住地を広げるこの場所には、日々の日常生活で八幡神社へ通勤通学する人々、学生を通うる神社へと参拝に行く人々、また、八幡神社へ向かう歩行者や車の往来がある。さらに、近づく車の音を聞き下す、遊び始めする子供達、街には、会いや学校、駅等から帰宅する人々。
図は、八幡神社参道に隣接するこの場所に、それらの空間に、それぞれの人々が「本を読む」ということを通じて心や体を休めることができる「憩」の場をみます。また、「本」だけでなく、神社参道に広がる豊かな「自然」にも毎日、建物内に開放的な空間や外部空間を「本」と「自然」の2つにより「憩」の場を提供します。

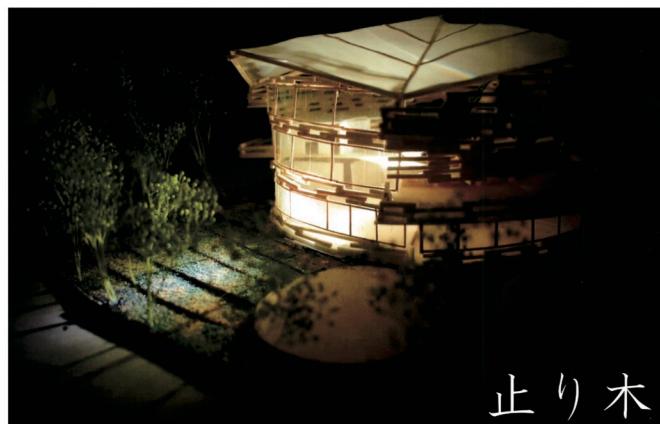
ダイアグラム



止り木

高坂啓太

木を組み合わせることで壁に隙間を作り、それによって人々の視線が行き交う。また開架書庫の床レベルを変化させることで多様なコミュニケーションが生まれる。生活リズムが異なる人々が新たにコミュニティを作ることができる図書館を目指した。



止り木

